

ほゆう

会報 170号

 平成 20 年(2008) 8 月例会時発行
 〒277-0841

柏市あけぼの 2-9-20 B902

北総歩こう会事務局

TEL・FAX 04-7145-1620



平成 20 年 7 月 20 日 月例会

『ビール工場見学ウォーク』を担当して

コースリーダー 早川 進

ビール工場見学ということでは最終ゴールは決まっているために取りうるコースは大体決まってくるが、今回は一昨年コースの途中で鬼怒川を見たことが非常に印象的であったのでそのときのコースを再度歩いてみたいと考えた。集合場所は前回駅のコンコースでしたが、できればほかのところに楽しく周辺を探したところ明治神宮の裏に広い公園があったためそこにして、名前が面白かったため明治神宮と記載しましたが代々木の神宮と間違えた方はおいでにならなかったと考えます。当日お祭りの準備を氏子の方々がなさっておいででしたので集会所のトイレをお借りしました。有難うございました。

このコースで自分として会員の方々に見ていただきたかったのは立沢公園を出てせせらぎの小路を経て、川の一里塚、竹林、香取大神宮にいたるまでの木陰を歩く部分でした。

せせらぎの小路は下見 3 回の際には水も流れていず、本番でどうなることかと心配していましたが、初めて水が流れていて安心しました。川の一里塚に出たとき皆さんはどのように感じられましたでしょうか？

今回は筑波エクスプレスが開通してから 3 回目のビール工場見学で守谷駅から出発するのが 2 回目であるので参加人員がどの程度かの推定がわからず予約人数をどうするか迷いましたが、当日天候もよかったこともあり最大推定人数(180名)に収まり全員が入場でき大きな支障も無く終わることができましたことを参加者の方々に感謝いたします。

(担当：菊池 靖・清水 完浩・筒井 寿一)



新入会員紹介

柏市 在住 高梨 文男さん
 先輩会員の皆様、どうぞよろしく!!

北総歩こう会入会のご案内

楽しく歩きましょう 多くの仲間がお待ちしております!

年会費 A 会員:¥5,000 (JWA 情報誌宅配代¥2,000 を含む)

B 会員:¥3,000 (JWA 情報誌無し)

別に A.B 会員とも初回は入会金¥1,000 必要です

連絡先: 〒277-0841 柏市あけぼの 2-9-20 B902

北総歩こう会事務局 電話&Fax 04-7145-1620

思い出の下見寸描記

-3-

総力を上げての“相馬霊場めぐり”その1

我孫子市在住会員 古澤 直起

この“相馬霊場めぐり”にはいろいろな出来事があった。苦労は勿論の事だが、数々の場面に出会いその1つ1つの経験、教訓が今日に至っている。北総歩は平成4年(1992)9月23日(水)第1回総会ウォーク「柏の史跡を訪ねて」(JR柏駅～東武新柏駅までの15km)で、253名の参加で産声をあげた。

勿論、県内各歩会を始め、多くの方々のご協力、ご援助のお陰である。そんな経緯でその後約3年間地道に積み上げて来た中で、“相馬霊場めぐり”がテーマになり企画された。

この霊場は利根川(坂東太郎)を挟んで茨城県取手市と千葉県我孫子市に点在、当初何だか壮大な計画の様に思え、緊張した事を覚えている。実施に際し2種類の資料があった。

その1:「相馬霊場八十八ヶ所案内」。当時北総歩役員のY氏が著作・編集・製本を一手に担ってくれた。「利根町歩く会」・「北総歩こう会」共催で70ページに亘る冊子を作成され、その後貴重な資料として何時も手離せない指導書となっている。

その2:初代会長菊池維平氏による「八十八ヶ所相馬霊場巡り」の順路・その間の距離の一覧表であった。それらの資料を基に、下見が始まった。以降、下見にまつわる思い出を記してみたい。(2007.07.17 歩遊人受けです。掲載が遅れ申し訳ありません)



相馬市在住会員

相馬市在住会員

相馬市在住会員



ふぁみりーウォーク

この行事に参加する場合、事前の申し込み(連絡)等の必要はありません。「ふぁみりーウォーク」の集合時間は毎回**9:00**です。遅刻しませんように。ゴール解散は**12:00**までを目途にしております。参加費(100円)、

- ☆ 9月20日(土) 初秋の利根運河を訪ねて
約8km (担当:川越久子)
集合:東武野田線運河駅 解散:運河駅
- ☆ 10月18日(土) 松戸小金宿あたりを歩く
8km (担当:小原とよ子)
集合:JR常磐線北小金駅東口
解散:新松戸 赤城神社 11:30頃



7/19 ふぁみりーW・房総風土記の丘→

2. 信号で、あわてず あせらず 待つ余裕



例会の案内板

☆ 9月例会 鮮魚街道を歩く② 11km・16km (コースリーダー 早川 進)

日時/9月15日(祝) 9:00 団体歩行 集合/東武野田線高柳駅

参加費/CWA 会員無料・県外歩会員&一般参加 300 円

解散/11km: 13:00 頃 みのり台駅 16km: 15:00 頃 樋之口川の一里塚

コース/高柳駅前～六実踏み切り～OWL Goko ショッピングセンター (WC) ～金ヶ作公園 (昼食、WC) ～みのり台駅 (一次 解散) ～美野里交差点～納屋河岸～樋之口川の一里塚 (解散式)

○ みどころ/鮮魚街道の後半を歩きます。道中 野馬除土手、子和清水をとおり江戸川岸の納屋河岸跡を目指します。



☆ 9月平日ウォーク 北総の素朴な自然探勝のみち 14km (コースリーダー 筒井 寿一)

日時/9月17日(水) 10:11 団体歩行 「歩きたくなるみち 500 選」千葉県⑧の押印あり

集合/北総線千葉ニュータウン中央駅 駅前 解散/出発と同じ NT 中央駅 駅前 15:30 頃

参加費/会員 100 円・県内歩会々員 200 円・他県協会々員&一般参加 300 円

コース/NT 中央駅～彦根の地蔵～光堂の厨子～松山下公園 (昼食・WC) ～大六天からの手賀～星の井戸～乳なし仁王尊～重文の農家～懐かし分校～中国の鐘～白井聖地 (WC) ～雨乞の阿夫利神社～NT 中央駅

○ みどころ/歩きたくなる道 500 選の千葉県⑧完全版です。都営浅草線日本橋駅で 9:18 発、JR 武蔵野線東松戸駅で 9:54 発や東武野田線&新京成線新鎌ヶ谷駅で 10:00 発の北総線に各駅でお乗換え下さい。

☆ 10月平日ウォーク 旧湖北村を歩く 14km (コースリーダー 吉田 公康)

日時/10月1日(水) 9:00 団体歩行 集合/JR 常磐線天王台駅 天王台西口公園

参加費/会員 100 円・県内歩会々員 200 円・他県協会々員&一般参加 300 円

解散/15:00 頃・湖北台第一公園で解散 JR 成田線湖北駅まで案内

コース/天王台西口公園～西音寺・八幡神社 (下ヶ戸) ～八幡神社 (岡発戸) ～八坂神社～中峠亀田谷公園 (WC) ～天照神社～湖北台中央公園 (昼食・WC) ～諏訪神社～日秀遺跡～将門神社～将門の井戸～日秀観音～湖北地区公民館 (WC) ～湖北台第一公園 (解散) …湖北駅まで案内

○ みどころ/東西に長い我孫子市の中ほどに位置する、旧湖北村を歩く。北側のはげの道、鎌倉道などを歩き、日秀遺跡、将門伝説ゆかりの地も訪ねる。



☆ 10月例会 ちば七廻道『水辺』コース (500 選のみちを歩く) (コースリーダー 堀口 武)

主催/NPO 法人千葉県ウォーキング協会 主管/北総歩こう会

日時/10月12日(日) 26km(自由歩行)8:30 集合 15km(団体歩行)9:30 集合

集合/柏の葉公園桜の広場 つくばエクスプレス線 (TX 線) 柏の葉キャンパス駅徒歩 15 分

参加費/参加者全員一律 500 円 (「歩きたくなるみち 500 選」&CWA 七廻道パスポート押印あり)

解散/15:30 頃 柏の葉公園

コース/26km コース: 大堀川～柏ふるさと公園～手賀大橋～白樺文学館～加納治五郎旧宅～船戸の森～武者小路実篤旧宅～JR 北柏駅～けやき通り～柏の葉キャンパス駅 15km コース: 錦木学校発祥の地～流通大学柏高校～理窓会記念自然園～運河水辺公園～東深井地区公園～東大柏キャンパス

○ みどころ/今回、出発場所・コースを一新。26km は千葉県①、15km は千葉県⑨とも 500 選のみち認定。26km コースでは、大堀川から手賀沼を半周して、白樺派文学者の足跡をたどります。15km コースでは、理窓会記念自然園で森林浴を楽しみます。

歩く道みち - 6 -



流山市在住会員 和田 武年

カミニート

関東地方は只今梅雨の真最中です。今日も暗い天空から際限も無く雨が降り続いております。そんな雨の中を午後から妻と車で「杉村美恵シャソンコンサート」を聴きに行きました。たまたま妻の友人から義理で

券を購入しただけで、高尚な趣味がある訳では御座いません。でもやっぱり目の前で直接聞く歌には迫力があると実感いたしました。まして歌手が中年の方ですとキャリアから来る安心感を持って歌を聴くことが出来るように思います。さて、開演して「パリの空の下セーヌは流れる」・「サントワマミー」・「街燈」・・・と続き、5曲目の歌が「カミニート」でした。

私は2000年の6月ちょうど今頃、晩秋のアルゼンチンの首都ヴェノスアイレスに滞在しておりました。或る日、市内をひたすら自分の足で歩く観光の末、下町「カミニート」の港に係留された船の喫茶店で休憩しました。「あの町の名前と同じ曲名だ」と全身に電気が走りました。「カミニート」は大河ラ・プラタ河口（厳密には支流のリアチュエロ川）に出来た開拓時代のアルゼンチン唯一の港町です。貧しい労働者や船乗りが屯した場末の居酒屋の片隅から官能的なアルゼンチンタンゴが生まれたのだそうです。直感的に「きっとこの曲はあの町に関係がある」と確信しました。

コンサート終了後、すぐにピアニストの上里知巳氏にこのことを尋ねました。その答えは「そのとおりです。アルゼンチンタンゴの有名な曲ですよ」と笑って教えてくれました。自宅に戻ってから再調査すると、この町生まれの詩人「フアン・デ・ディオス・フィリベルト」が世に残したアルゼンチンタンゴの名作の一つだとわかりました。私の歩いた「カミニート」の今は、絵画を志す若者達が集まる町として、建物の壁その他至る所に絵が溢れていたことを思い出した梅雨の一日で御座いました。(H.18.06 記)



現在のカミニートは絵画を志す若者が集まる町だ

【編集後記】会社現役の頃、定年退職直前の方を富士山の頂上に立たせるボランティア活動をしていた。梅雨が明けてお盆前の何日にするか悩んだものである。主に8/5～10に決めたが、梅雨が長引いて困ったものだ。昨年も今年も早々と明けてしまい、今度は水不足が心配である。食糧難がささやかれる作今、暑くて田の水温が上れば米は豊作だと信じていたが、現実にはそうでもないらしいのである。美味しいお米が温暖化により収穫地が南から北へ移動していると言うから驚く。7月の月例会「ビール工場W」の日は、子供達が私の古希を祝ってくれると言うので出席出来ず残念だった。8月は広島・長崎に原爆が投下され、終戦を迎えた月である。暑い夏に、我々戦争体験者は悲惨な体験を子孫に熱く語り伝える人生最後の役割を果たそう。一歩遊人—
編集担当 和田 武年 〒270-0121 流山市西初石 6-187-43 Tel・Fax 04-7154-0170